

令和 3 年度 事業の課題に対する 取組みについて

大阪市における在宅医療・介護連携推進事業のめざすべき将来像

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種協働により在宅医療と介護を一体的に提供できる体制が構築されている。

めざすべき将来像に向けての局の課題

1. 事業の進捗管理
2. 広域連携の仕組みづくり
3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

課題 1 事業の進捗管理

課題 1 に対するこれまでの取り組み

- ・医療施設等アンケート調査、大阪市高齢者実態調査等より、本事業の評価指標を設定

課題 1 に対する今年度の取り組み

(1) 評価指標での進捗管理

- ・大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する医療施設等アンケート調査を実施予定

➡ 議事（4）へ

(2) 区役所・相談支援室への取り組み調査からみる事業の進捗管理

➡ 課題 3 にて報告

課題 2 広域連携の仕組みづくり

課題 2 に対するこれまでの取り組み

- ・『入退院支援にかかる多職種研修会』を基本保健医療圏毎に開催
令和元年度：大阪府入退院支援の手引きについて
令和2年度：コロナ禍での入退院支援

課題 2 に対する今年度の取組み

さらなる広域連携へつながられるよう、基本保健医療圏から大阪市域へ対象者を広げた研修会の開催を検討

市内基本保健医療圏ごとの多職種研修会の開催

認知症のある方と家族の意思決定をテーマにて実施
今年度は大阪市域を2ブロックに分け開催予定

開催予定



延期

【内 容】

～認知症がある方と家族の意思決定～

講師：同志社女子大学 看護学部 杉本百合子准教授

【日 時】

令和3年8月23日（月）（西部）福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区
（南部）阿倍野区、住之江区、住吉区、東住吉区、平野区、西成区

令和3年8月26日（木）（北部）北区、都島区、淀川区、東淀川区、旭区
（東部）中央区、天王寺区、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区

両日とも 午後2時15分～4時15分

【場 所】

天王寺区民センター

課題3 に対するこれまでの取り組み

- ・『在宅医療・介護連携推進事業 区新任担当者等説明会』の開催
- ・区役所及び相談支援室への個別支援
- ・『区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会』の開催
（令和2年度 第1回「ACP」、第2回「これからの在宅医療・介護連携推進事業の展開
へ向けて～区役所と受託法人との連携、そして多職種連携へ～」をテーマに開催）

課題3 に対する今年度の取り組み

- （1）区役所への支援
 - ①『在宅医療・介護連携推進事業 区新任担当者等説明会』の実施
 - ②区役所への個別支援
（人事異動に伴う区役所実務者の交代、取り組み調査より支援の対象を検討）
- （2）相談支援室への支援
 - ①新任コーディネーターへの個別支援
 - ②新任コーディネーター向け『コーディネーター連絡会』開催の検討
- （3）区役所・コーディネーターのスキルアップと連携
『区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会』の開催

① 在宅医療・介護連携推進事業 区新任担当者等説明会の開催

実施済

【日 時】令和3年6月28日（月）

【内 容】（前半）『在宅医療・介護連携推進事業の進め方について』

（後半）『情報共有（グループワーク）』

NEW

～令和2年度の取組みについて、令和3年度に取り組んでみたいこと等～』

＊区とコーディネーターとの合同で実施

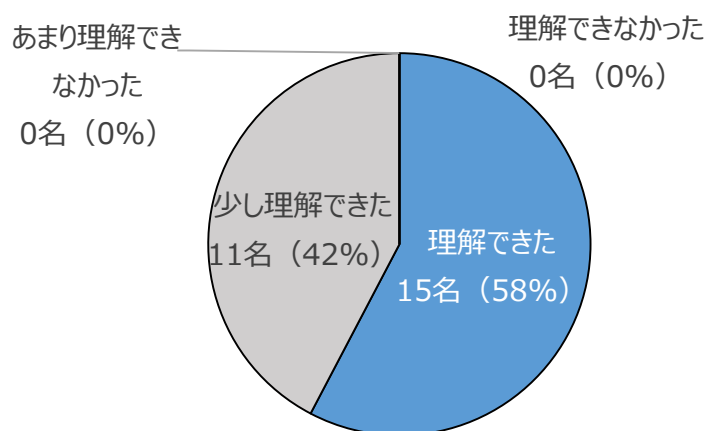
【参加者】区職員：28名（うち、新任者18名）

（職種内訳：事務職16名、福祉職1名、保健師9名、医師3名、不明1名）

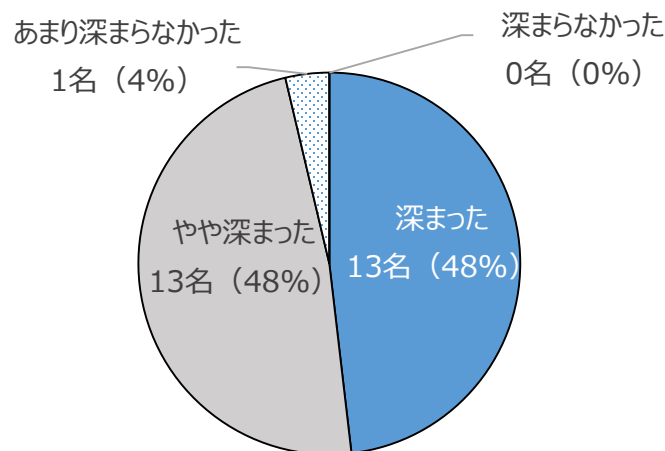
コーディネーター：26名

アンケート結果：区職員のみ

① 説明会の内容の理解について



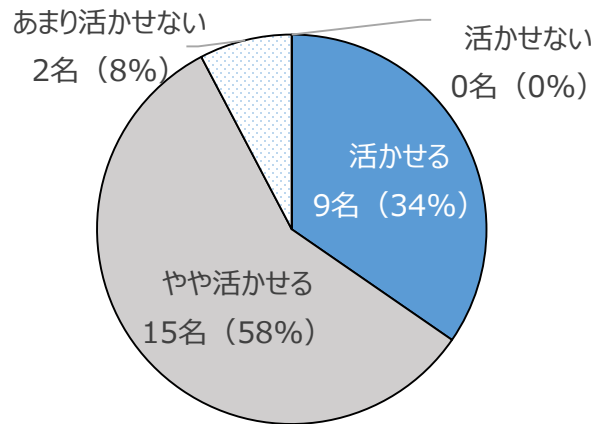
② グループワーク（後半）で事業の理解が深まったか



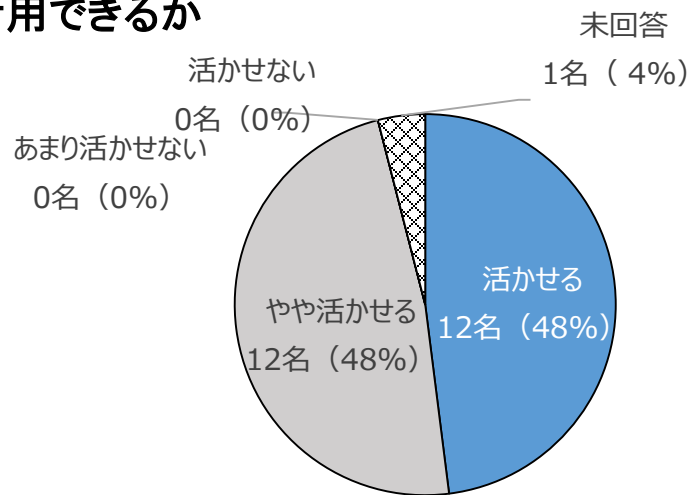
アンケート結果：全体

【区職員】

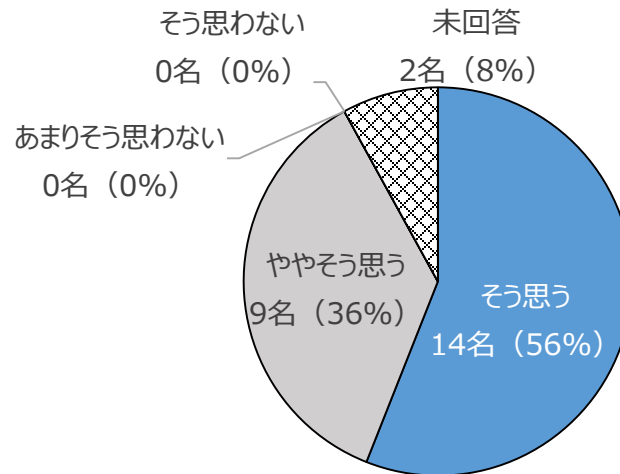
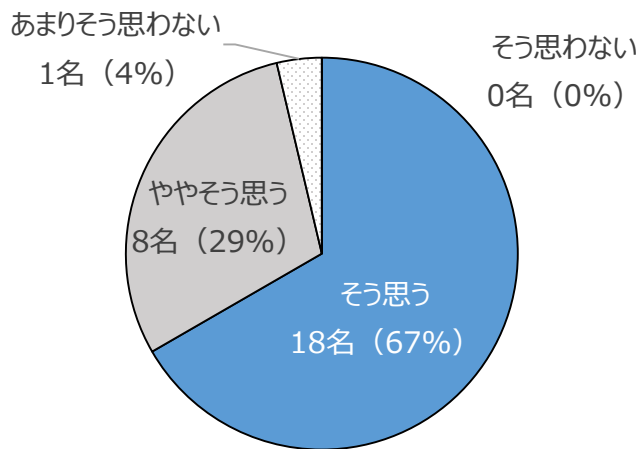
①今後の業務に活用できるか



【コーディネーター】



②顔の見える関係づくりができたか



【区職員】

【説明会に対する意見】

- ・事務の流れだけでなく、交流を持ちながら進めると、会議がよりスムーズに進むと感じたので今後参考にしたい
- ・他区の取組み等いろいろ話が聞けたので参考になった
- ・コーディネーターや他区とのグループワークの時間をもっとほしい

【今後の研修会への要望】

- ・事例発表の場があればよいと思う
- ・支援者がACPIについて理解を深める必要があると思った
- ・介護保険やサービス、訪問看護の点数等を分かりやすく知りたい

【コーディネーター】

【グループワークでの学びなど】

- ・相談支援室だけで進めていくのではなく、区役所や他の事業所との連携がいかに大切かがわかった
- ・区役所との連携について具体的に聞いたことは今後の活動での大きなヒントになった
- ・各区の具体的な取組みや目標を聞く機会になった
- ・区役所が中心で協力、連携体制の重要性
- ・コロナ禍であっても歩みを止めないための熱意
- ・現場を知ることで課題を得るという姿勢

【今後の活動について】

- ・ACPIについて取り組んでいきたい
- ・ワクチン会場での啓発活動について取り入れてみたいと思った

② 新人コーディネーター向け『コーディネーター連絡会』の開催

NEW

継続実施中

【第1回】 令和3年5月18日（火）オンライン

参加者：新人コーディネーター 7名（1年目2名、2年目5名）

ファシリテーター 2名

内 容：今困っていること、相談したいことを共有

ね ら い：①困り事を共有：困っているのは一人じゃない

②ピアサポートを感じよう

③困り事はなくならないが、何とかできると思える

アンケート結果

【今後の業務に活用できそうか】

活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない
6（86%）	1（14%）	0（0%）	0（0%）

【自由記載】

- ・オンラインでも開催してくれたことで、少人数で顔が見え今後の相談がしやすくなった
- ・新人の方ばかりということで安心感もあり質問しやすい雰囲気でした
- ・ファシリテーターに経験豊富なコーディネーターの方々がご参加いただきましたので参考になりました
- ・環境が違う中、他機関との連携を試行錯誤しながら行っており、今回のような些細な疑問や今困っていることをテーマとして取り上げて頂けると共感でき、有効だと思う
- ・事業の基礎的な部分についても研修もあればよい

【第2回】 令和3年7月26日（月） 参集

参加者：新人コーディネーター 10名（1年目4名、2年目6名）

ファシリテーター 3名

内 容：年間計画の立て方

ね ら い：①年間計画の立て方を理解する

②ピアサポートがあることを知る

③困ったときに相談しあえるようになる

アンケート結果

【今後の業務に活用できそうか】

活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない
7（70%）	3（30%）	0（0%）	0（0%）

【自由記載】

- ・新人ばかりだったので、質問や話がしやすかった
- ・目標の見える化、具体化が参考になった
- ・小さな目標を立ててはいけないと思っていたが、そうではないことがわかった
- ・地域での活動や個別ケースへの対応について具体的な方法を知りたい
- ・区役所との連携方法や会議の運営について知りたい
- ・顔を合わせて話のできたので今まで以上に話がしやすくなった
- ・ファシリテーター初動期の話が聞けて参考になった
- ・初動期の活動を振り返る機会になった（ファシリテーター）



継続実施中



大阪市在宅医療・介護連携推進事業 コーディネーター連絡会 通信

R3.6月発行

参加された方の声

皆さんの顔の
見え、今後の相談が
しやすくなった

事業の基礎的な
研修もして
欲しい

新人コーディネーターさんにスーパーバイズしていただける
先輩コーディネーターさんも募集しています！
ご自身の活動を振り返るチャンスにもなります！
次回は7月26日（月）の予定です。
ご連絡お待ちしております。

新人コーディネーター連絡会 を開催！

5月18日にオンラインで新人コーディネーターさん向けの連絡会を開催しました。
7名の新人コーディネーターさんが参加し、
困っていること、悩んでいること、こんな時
他の人はどうしているの？という日頃の疑問
をテーマにして、参加者の皆さんと共有し、
みんなでアイデアを出し合いました。

6月の連絡会は・・・

6月28日（月）午後
大阪役所 地下1階第11会議室にて

区担当者と顔合わせ、各区の取り組みを情
報共有することで、より一層事業への理解
を深め、地域での連携を進めることを目的
としています。

コーディネーターの皆さまへ

4月に担当者が交代し、皆様にはご
不便、ご迷惑をおかけしてしま
す。
少しでも活動内容をお伝えできたら
と思い、通信を発行していきます。
年4回、声を届けていきたいと思っ
ています。
よろしくお願いします。
保健師 宮成

相談支援室を訪問

4、5月より各区訪問中です。
現在、15区訪問させて頂き、次のような
お話を聞かせていただきました。

- ・コロナで顔の見える関係が築きにくく
連携がしにくくなった
- ・住診のニーズが増えている
- ・かかりつけ医がおらず、受診先を探すこ
とに苦労した
- ・研修をリモートで開催することで、日頃
は参加することが難しい職種の方に参加
してもらえるきっかけになった

日頃の活動の“書面ではわからない生の声”
を聞かせていただくことができました。

緊急事態宣言中ではありますが、順次まだ訪
問できていない相談室にお伺いしお話を聞か
せていただきたいと計画しておりますので、
よろしくお願いいたします。

受託法人、相談支援室、区役所担当部署へ配信

- 【第1号】令和3年6月発行
 - ・新任コーディネーター連絡会の報告
 - ・相談支援室の訪問結果について

【第2号】令和3年9月発行予定



コーディネーターの皆さまへ

4月に担当者が交代し、皆様にはご
不便、ご迷惑をおかけしてしま
す。
少しでも活動内容をお伝えできたら
と思い、通信を発行していきます。
年4回、声を届けていきたいと思っ
ています。
よろしくお願いします。
保健師 宮成

④ 区役所及び相談支援室への研修会の開催

区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

開催予定

【日 時】令和3年11月5日（金） 午後

【内 容】『地域診断 ～地域の課題が見える化しよう！～（仮）』

講師：大阪府立大学 看護学部 都築千里教授

⑤ 区役所及び相談支援室への個別支援

区役所

取組み調査等より現状と課題を把握し、必要な区へ個別支援実施予定

【期 間】 令和3年6月～

【内 容】 現状・課題の把握・連携方法について



令和2年度 of 取組み調査より3区を抽出し、6月より個別支援を開始
現状の把握と事業説明、コーディネーターとの顔つなぎ等実施

相談支援室

24区相談支援室へ訪問 （20区／24区訪問済）

【期 間】 令和3年4月～

【内 容】 現状・課題・困っていることの把握、今年度の取組みについて



相談支援室 訪問まとめ

【令和2年度の取り組み内容】

- ・コロナ禍で活動が制限されることが多く、連携がしにくくなった反面、ICTを利用し多職種研修会や会議を実施することができた
- ・ICTを利用して研修会を実施したので、今まで参加の少なかった職種（ヘルパー等）の参加が増えた
- ・感染対策など、新型コロナウイルス感染症関連の啓発を実施した

【課題・困っていること】

- ・新型コロナウイルス感染症のため面会や退院前カンファレンスができずに、退院するケースが増加しているため、対応に困ったケアマネジャーからの相談が増えている
- ・相談支援室への相談について、介護側からの相談と比較して、医療側からの相談が少ない
- ・相談内容が複雑化してきており、困難ケースが増加している

【令和3年度に取り組みたいこと】

- ・地域での連携がスムーズにできる仕組みづくり、マニュアルづくり、ケアカフェの開催
- ・入退院にかかわるルール（エチケット）ブックの作成
- ・事例検討会
- ・発災時の対応についての研修会